

**製品名:** パーフォリンウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00479

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 61 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	PRF1
別名	Perforin-1; P1; Cytolysin; Lymphocyte pore-forming protein; PFP
遺伝子 ID	5551
SwissProt ID	P14222
免疫原	抗血清はヒト PRF1 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

## 背景

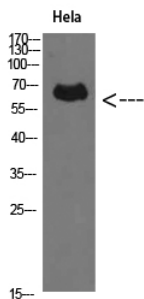
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、補体成分 9 (C9) と構造的および機能的に類似しています。C9 と同様に、このタン

パク質は膜貫通型小管を形成し、様々な標的細胞を非特異的に溶解することができます。このタンパク質は、細胞溶解顆粒の主要な細胞溶解タンパク質の一つであり、T細胞およびナチュラルキラー細胞を介した細胞溶解の重要なエフェクター分子であることが知られています。この遺伝子の欠陥は、家族性血球貪食性リンパ組織球症 2 型 (HPLH2) を引き起こします。これは、幼児期に発症する稀で致死的な常染色体劣性疾患です。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

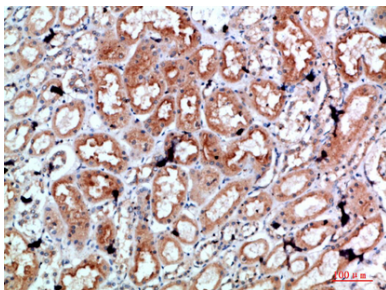
## 研究分野

免疫学

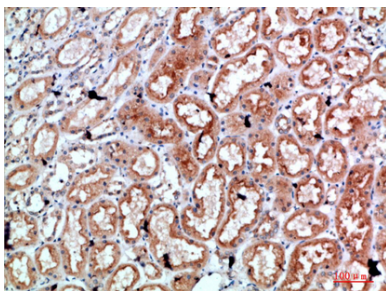
## 画像データ



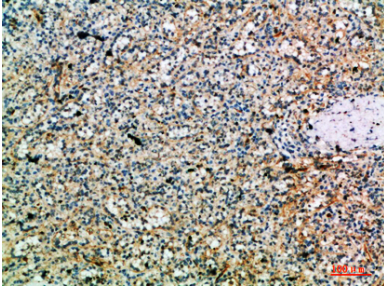
Perforin 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Perforin のウェスタン ブロット分析。



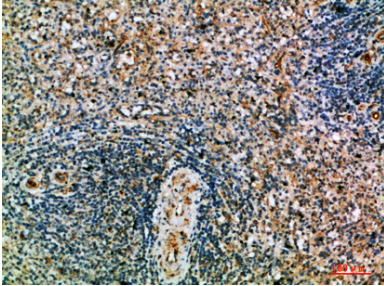
パーフォリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



パーフォリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



パーフォリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



パーフォリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。